

JHFレポート

2006年夏号

最新情報・バックナンバーは
ウェブサイトで
http://jhfhangpara.or.jp

Japan Hang&Paragliding Federation

社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟 発行

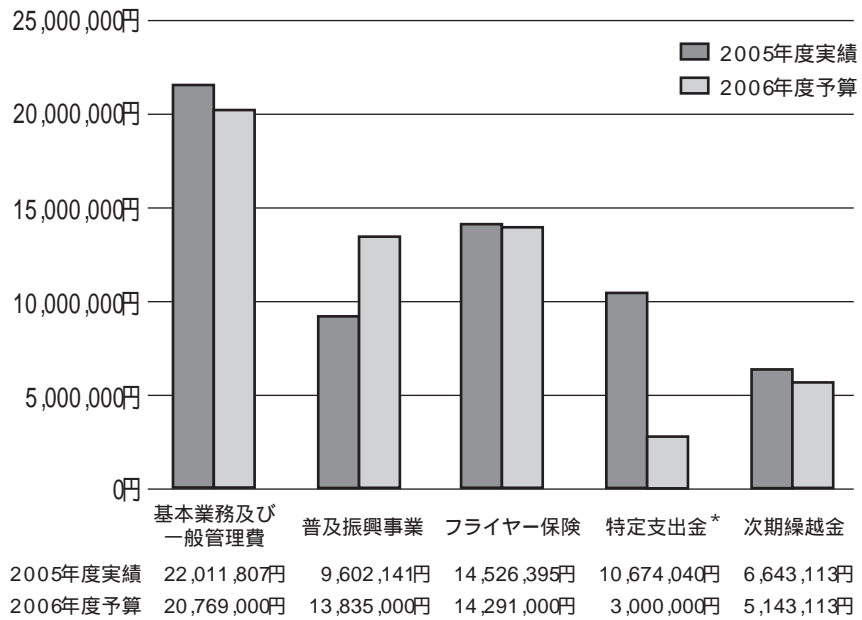
2005年度後半から 2006年度前半の報告

2005年度事業と決算

2005年度のJHFは「健全な財政」を第一の課題として、超緊縮補正予算の下で事業を行いました。

2004年度に、重大事故多発を受けた事故防止のための事業やJHF共済の設立助成のため、当初予算より大きく支出がふくらむ事態となり、この収支のアンバランスを改善すべく、まず、連盟事務所移転をはじめとする事務局経費の削減および合理化に着手。常駐有給理事の廃止、理事・委員の日当の返上、JHF共済に追加の支出をしないことを決定し、さらにフライヤー会員へのJHFレポート送付を年に一回だけにするなど、思い切った方法で支出の大幅削減を断行。出費を極力抑えることを考えながら、教員検定会の随時実施、スクール・クラブへの情報送付、入門者用ウェブサイトの立ち上げ、重大事故の調査・データ収集などを行いました。また、フライヤーのための団体傷害保険を準備し、2006年度7月にスタートさせています。

JHF 2006年度事業費予算と 2005年度実績



* 特定支出金：2005年度：運営基金積立金、JHF共済清算費用、事務所移転費用
2006年度：パラグライディング教本発行積立金

2006年度事業と予算

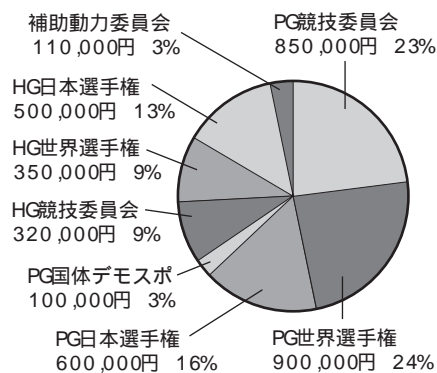
ハンググライディング・パラグライディングの統括団体として、2006年度は特に普及・振興事業の推進に力を入れています。2005年度の思い切った支出削減によって、2006年度予算では、本来の普及振興事業や安全性向上のための予算を前年度に比べ大幅に厚く配分することができました。また、事務局の老朽化した会員データ管理システムや作業ネットワークの新たな構築にかかることができました。

しかし、フライヤー会員数の減少により厳しい経済状態は続いており、残念ながら2006年度はJHFレポートをフライヤー会員個々に送付することを断念しました。

特筆すべき点としては、競技会支援の予算に、パラグライダー、ハンググライダー、補助動力付きパラグライダー、それぞれのおおよそのフライヤー数割合を反映させたこと、パラグライディング教本改訂のための準備金を積み立てることがあげられます。

* 教本改訂の準備は、教員・スクール事業委員会と安全性委員会が始めています。現教本の内容でお気付きの点をJHF事務局までメールまたはファクスでお知らせください。
E-mail: info@jhfhangpara.or.jp
FAX :03-5961-1389

競技関連予算配分



普及振興事業費の主なもの

| | |
|--------------|------------|
| 都道府県連盟事業 | 1,940,000円 |
| 学生フライヤー連盟補助 | 100,000円 |
| 広報出版部 | 1,220,000円 |
| 安全性委員会 | 360,000円 |
| 教員・スクール事業委員会 | 760,000円 |
| 補助動力委員会 | 110,000円 |
| PC競技委員会 | 850,000円 |
| HG競技委員会 | 320,000円 |
| 世界選手権引当金 | 1,250,000円 |
| 日本選手権 | 1,100,000円 |
| 国体デモスポ助成金 | 100,000円 |

2006年度 JHF通常総会

6月14日(水)、東京都の新宿スポーツセンター会議室において、2006年度JHF通常総会を開きました。

全国4正会員(都道府県連盟)のうち36会員が出席、7会員が委任状を提出。東京都ハング・パラグライディング連盟理事長の内田孝也さんが議長に選出されました。

議案は右記の七つ。また、議事の前に、30年もの間、ハング・パラグライディングの普及に多大な貢献をされてきた阿部郁重さん(JHF安全性委員会委員長などをつとめていただいた)に感謝状を贈りました。

第1号議案：定款の一部改正

(住所変更のみ) - 承認

第2号議案：2005年度事業報告 -- 承認

第3号議案：2005年度決算報告 -- 承認

第4号議案：2006年度事業計画 -- 承認

第5号議案：2006年度予算案 -- 承認

第6号議案：選挙管理委員の選任

(P2を参照)

第7号議案：ロゴマークの決定

(P4を参照)

人事

委員会・広報出版部メンバー選任

3月31日の常設委員会・広報出版部のメンバーの任期満了に伴い、2006年度・2007年度の委員・部員候補を公募し、1月理事会で選任しました(一部追加選任)。

ハンググライディング競技委員会

高橋明*、砂間隆司、大田祐輔、松村貴博、太田昇吾

パラグライディング競技委員会

岡芳樹*、児島彰、中川喜昭

補助動力委員会

山崎勇光*、星野納、小松園悦、須藤彰、金井博美

教員・スクール事業委員会

(教習検定委員会から名称を変更)

岩橋亘*、小林秀彰、桂敏之、中台章、

山谷武繁、伊尾木浩二

安全性委員会

下山進*、板垣直樹、山本貢、桂敏之、

鈴木康之、伊尾木浩二

制度委員会

小林秀彰*、市川孝

広報出版部

東野武史*、山下敏治、小間井みゆき、

松原正幸

選挙管理委員会

6月14日(水)の2006年度JHF通常総会で、選挙管理委員会の4名の立候補者全員が正会員によって選任されました。新選挙管理委員会は、来年の現理事・監事の任期満了に伴うJHF役員選挙に向けて、準備を始めます。

新選挙管理委員

岩間雅彦*、星野納、泉秀樹、井上潔

*印は委員長・部長

理事の辞任

3月に関谷暢人理事が辞任。また、4月に中島吉徳理事が辞任しました。

*現理事・監事は2006年度末で任期満了を迎えますが、総会が年に一度、6月のみの開催になり、役員選挙も6月になったため、新役員が選任されバトンタッチできるまで、現理事・監事が引続きその職務にあたる予定です。

空の自由は自分で守る

鳥のように自由に空を飛びたい。そんな願望をパラグライダー・ハンググライダーは比較的手軽に叶えることができます。その簡便さは大きな魅力ですが、すべてを軽く考えてはなりません。安全についてはフライヤー各人が重大な責任を負っています。飛行技術を磨くのはもちろんのこと、さまざまな知識を貯え、自分を律する強い意志

傷害保険・共済

JHF総合保障制度がスタート

JHFは、東京海上日動火災保険株式会社と、団体用傷害保険(パラグライダーフライヤー対象)の契約を結びました。JHFが希望者をまとめるため、個人で加入するより有利な保障内容です。ぜひご利用ください。海外で起きた事故、パラグライディング以外のときに発生した事故もOK。

保険期間は毎年7月1日から1年間ですが、2006年度に限って途中加入を受け付けています。申込み方法など詳しくは最寄りのスクールに問い合わせ、またはJHFウェブサイトの「JHFパラフライヤー総合保障制度」をご覧ください。なお、ハンググライダーフライヤーの保障については調査中です。

JHF共済は受け付けを終了

(JHF共済会からお知らせ)

パラ&ハングフライヤーのための保障制度としてスタートしたJHF共済は、2006年3月末日をもって、新規保障プランの加入及び更新の受け付けを終了しました。

4月以降の保障については下記のとおり。

任意保障プラン・イントラ総合保障プラン

に加入に加入されていた方.....

2006年3月までに更新された方には、

契約どおりの保障をします。

練習生保証プラン・タンデム保障プラン

に加入されていた方.....

2007年3月以降は利用できません。それ

までにお手元の口数を最大限ご利用

ください。

* JHF共済についてのお問い合わせは JHF 事務局までお願いします。

CML

2006年CML総会の報告

2月11日・12日、スイスで、CML(国際ハンググライディング&パラグライディング委員会)総会が、前日の10日にはCML小委員会が開かれ、日本からナショナルエアロクラブ(財団法人日本航空協会)の代表として岡芳樹氏が出席しました。主な議決事項は右のとおりです。

を持つことが大切です。

最近もパラグライディング歴10年の女性が墜落して亡くなる事故がありました。また、離陸時のパワードパラグライダーが近くにいた人に衝突して失明させる事故も発生しています。自分の、そして他者の安全を守るため、日々努力をしていきましょう。それが「自由な飛行」を守る必須条件です。

バッジ

国際技能記章の飛行課目が見直され、デルタバッジ(ハンググライディング)、イーグルバッジ(パラグライディング)ともに獲得しやすくなりました。ピンバッジとワッペンのデザインも一新。飛行証明も3D-GPSのフライトログでできるなど簡単に*。

アキュラシーのジャッジング

アキュラシー大会での判定について学ぶ、CMLジャッジングセミナーを、日本で開催できることになりました。CMLから講師が派遣されます。

選手権

2008年の各選手権は以下の開催地に決まりました。

・パラグライディングヨーロッパ選手権:

セルビア・モンテネグロ

・パラグライディングアキュラシーヨーロッパ選手権:セルビア・モンテネグロ

・パラグライディングパンアメリカン選手権:

ブラジル(条件つき)

・エアロパティック世界選手権:ノルウェー

詳しくはJHFウェブサイトのトピックス

3月6日バックナンバー、岡氏の報告書をご覧ください。

*公認記録飛行でも3D-GPSによる飛行証明が可能になります。JHFでは、競技委員を中心に、GPSの性能や記録改ざん防止、記録立会人と助手の選任などについての研究を開始するにあたり、専門的な知識を持つ方の参加をお願いする予定です。

CMLデレゲート・オルタネート推薦

財団法人日本航空協会からの推薦依頼を受け、6月理事会で、CMLの正副日本代表委員の推薦を決定。前年と同様、デレゲート(正)に岡芳樹氏、オルタネート(副)に郷田徹氏を推薦しました。

世界選手権

第1回FAパラグライディング

エアロパティック世界選手権

8月16日から27日までスイスのヴィルニユーヴで開催されます。JHFでは日本を代表するアクロパイロット、福岡聖子選手と加藤豪選手を派遣。二人の華麗な舞いに大きな期待がかかります。

詳細は下記サイトで。

<http://www.redbull-vertigo.com/>

第4回FAパラグライディング

アキュラシー世界選手権

2007年2月11日から20日までリトアニアのトラカイで開催。凍った湖の上で着陸精度を競います。2006年2月のプレ世界選手権やトラカイの様子は下記のサイトで見ることができます。

<http://www.pagaukveja.lt/?lang=2>

第10回 FA パラグライディング 世界選手権

2007年2月24日から3月10日まで、日本のパイロットも多く訪れているオーストラリアのマニラで開催。スケールの大きな競技が展開されそうです。

大会公式サイト
<http://www.manilla2007.com/>

第16回 FA ハンググライディング 世界選手権

2007年8月8日から18日まで、米国テキサス州のビッグスプリングスで開催されます。

*各世界選手権への選手派遣については、顔ぶれが決まり次第、JHFウェブサイトでお知らせします。また選手は各競技のルールに則って選考します。

FA ハンググライディング(クラス1女子&2&5)世界選手権

5月18日から27日まで、米国フロリダ州クレストエアーで開催されました。JHF派遣の日本チームは、クラス1女子の加味根あかり、クラス5板垣直樹、境卓史、山本剛、小林正和各選手、チームリーダー北野正浩、アシスタント松村貴博、小林友江の8名。

大会前半は天候に恵まれ、初日から4本連続でタスクが成立。中盤は曇りでキャンセル。終盤で3本のタスクが成立し、3人の世界チャンピオンが誕生しました。

[クラス1女子]

1位 コリーナ・シュヴィーゲルスハウゼン(ドイツ)
2位 カリー・キャッスル(米国)
3位 ナタリア・カムローヴァ(ロシア)
14位 加味根あかり(日本)

国別 1位ドイツ 2位米国 3位ロシア 7位日本

[クラス2]

1位 マンフレッド・ルーマー(オーストリア)
2位 ロビン・ハミルトン(英国)
3位 ブライアン・ポーター(米国)

国別 1位米国 2位オーストリア 3位英国

[クラス5]

1位 ロベルト・ライジンガー(オーストリア)
2位 ダヴィッド・ショメ(フランス)
3位 アレッサンドロ・プロナー(イタリア)
7位 板垣直樹 24位 山本剛

43位 小林正和 49位 境卓史

国別 1位フランス 2位イタリア 3位

オーストリア 7位日本

*詳細は、北野チームリーダーの報告ブログをご覧ください。JHFウェブサイトのハンググライディング競技委員会ページから。

クラス1女子・クラス5日本チーム



日本選手権

2006パラグライディング 日本選手権 in富士山

11月3日から7日まで、静岡県朝霧高原(アサギリ高原パラグライダーズスクールエリア)で開催します。日本一のパイロットをめざし、ふるってご参加ください。

昨年、女子の部優勝者にも、財団法人日本航空協会(JAA)から日本選手権者証とJAAメダルが授与されることになりました(実際の女子参加人数が5名以上で全参加者数の10%以上であることが条件)。女子パイロットの皆さん、初代女子チャンピオンになるチャンスです。頑張りましょう!

パラグライディング アキュラシー日本選手権

2007年5月下旬に宮城県仙台市泉ヶ岳スカイランドで開催。アキュラシー競技は、着陸精度を競うもの。フライヤーではない人にもわかりやすく、パラグライディングの魅力のアピールするのにうってつけの競技でしょう。

JHFアキュラシージャパンリーグも始まり、2006年9月9日・10日には、同エリアで「アキュラシー日本選手権 in宮城」が開催されます。初代選手権者になるつもりの方はもちろん、大会は未経験という方も気軽に参加してください。

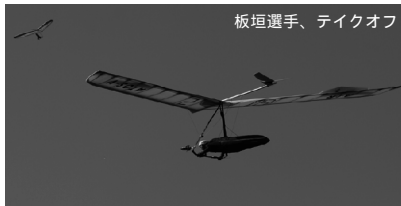
2005年ハンググライディング 日本選手権リジッド in秦野

神奈川県秦野市の市制50周年記念事業とタイアップして、12月21日から25日まで秦野市丹沢山系菩提峠エリアで開催しました。クラス5(コントロールバーの付いたリジッドウイングハンググライダー)日本選手権の開催は2003年に続き2回目。

競技が成立した23日と25日のタスクは、両日とも秦野の空を縦横に飛び回るサーキットパイロン(65.4kmと57.1km)。クラス5初代日本選手権者の板垣直樹選手が、安定した強さで連覇を果たしました。

[入賞者]

1位板垣直樹(茨城県) 2位古坂学俊(茨城県)
3位小林正和(東京都) 4位塩野正光(栃木県)
5位山本剛(神奈川県) 6位鈴木 清(埼玉県)



2006年ハンググライディング 日本選手権 in南陽

4月29日から5月3日まで、山形県南陽市の南陽スカイパークで開催。

競技が成立したのは29日(約60kmタスク)、30日(約55kmタスク)、3日(約100kmタスク)。若手筆頭に加藤実選手が日本一の座に片翼をかけたかに見えましたが、ベテラン桂敏之選手がそれを抑えて日本選手権者に。また、初日に女子唯一のゴールを決めた中村英絵選手がそのまま首位を奪って走り、日本ハング史上初の女子日本選手権者となりました。

[総合入賞者]

1位桂 敏之(茨城県) 2位加藤 実(愛知県)
3位氏家良彦(兵庫県) 4位外村仁克(和歌山県)
5位大門浩二(茨城県) 6位鈴木博司(岐阜県)

[女子入賞者]

1位中村英絵(東京都) 2位谷古宇瑞子(栃木県)
3位桜井さやか(栃木県)

2005年ランキング

2005年12月31日、ハング・パラグライディングの2005年競技シーズンが終了。各リーグのランキングが決まりました。

ハンググライディングシリーズ

[総合1位] 大門浩二 225.87ポイント

[女子1位] 岡田明子 52.05ポイント

パラグライディングジャパンリーグ(国際)

[総合1位] 若山朋晴 136.69ポイント

[女子1位] 平木啓子 75.99ポイント

パラグライディングジャパンリーグ(国内)

[総合1位] 若山朋晴 3410.0ポイント

[女子1位] 谷村淳子 2387.3ポイント

ハンググライディングクロスカントリーリーグ

[総合1位] 氏家良彦 213.4km

[女子1位] 小間井みゆき 124km

パラグライディング クロスカントリーリーグ

[総合1位] 中川喜昭 合計221.4km

*競技についての詳細はJHFウェブサイト各競技委員会のページをご覧ください。

インターネット

スクール案内サイトをスタート

JHFでは、パラグライディングを始めたいと思っている人向けのウェブサイト『パラグライダー全国優良スクール』を立ち上げました。 <http://www.hangpara.jp> ここを見ればバラのすべてがわかる.....そんなサイトをめざしています。

サーマルネットに登録を!

JHFでは電子メールによる情報配信を行っています。情報配信ご希望の方は「サーマルネット」にぜひご登録ください。

<http://jhf.hangpara.or.jp/>

mailmagazine@mail_info.hml

募集

アキュラシーFA ジャッジセミナー
国際航空連盟(FAI)ではパラグライディングアキュラシーの普及のため、ジャッジセミナーを世界各地で開いています。アジア地区では日本が幹事国となり、「アキュラシープレ日本選手権 in宮城」の公式練習日に、JHF主催で開催する予定です。詳しくは、JHFウェブサイトのパラグライディング競技委員会ページに発表しますので、奮ってご参加ください。
日程：2006年9月8日(金)
場所：宮城県仙台市泉ヶ岳スカイランド
講師：FAI(CNL)から派遣
参加者には受講証が授与され、CNLジャッジリストに加えられます。

フライト安全・技術講座

JHFから、安全フライト指南・最新のテクニク紹介を目的に講師を派遣します。正会員(都道府県連盟)・スクール・クラブ単位で参加希望者を募って、JHF事務局にお知らせください。日程を調整します。但し参加希望者が少人数の場合は、ご希望にそえないことがあります。

イベント

第30回鳥人間コンテスト 選手権大会 (JHF協賛)

自作人力飛行機による飛行距離および飛行時間を競う鳥人間コンテストが、7月22日(土)・23日(日)に琵琶湖東岸で開催されました。荒天による競技キャンセルが心配されましたが、2日間とも飛行でき、無事に終了。JHFは下村孝一会長と元安全性委員矢ヶ崎弘志氏を審査員として派遣しました。

大会の様子は、よみうりTV/日本TV系列のテレビ局で9月22日(金)に放映される予定です。

スカイ・レジャー・ジャパン '06 in但馬

8月5日(土)・6日(日)に兵庫県豊岡市・コウノトリ但馬空港で、スカイスポーツの祭典「スカイ・レジャー・ジャパン '06 in但馬」が開催されました。実行委員会の一員であるJHFでは、兵庫県フライヤー連盟が中心となって、モーターパラグライダーのデモ飛行、パラ・ハングの体験会を実施しました。

報告は財団法人日本航空協会ウェブサイト
http://www.aero.or.jp/koku_sports/slj-top.htm

のじぎく兵庫国体PG大会

2006年度第61回国民体育大会、のじぎく

兵庫国体のデモンストレーションスポーツ(デモスポ)行事として、パラグライディング大会が開催されます。パラグライディングを一般の人々により広く知ってもらうことを目標に、兵庫県フライヤー連盟が名乗りをあげ準備に奔走してきましたが、いよいよ本番間近。ぜひ観戦にお出かけください。

開催日：10月7日(土)・8日(日)
開催地：兵庫県養父市八チ高原スキー場とハイパーボウル東鉢スキー場
タスク：クロスカントリー、オープン、ターゲット
のじぎく国体ウェブサイト

<http://www.habatan2006.jp/modules/wfsection/article.php?articleid=59>

スカイスポーツシンポジウム (JHF協賛)

今年も(社)日本航空宇宙学会の「スカイスポーツシンポジウム」が開催されます。講演テーマは「人力飛行機、ハングライダー、パラグライダー、グライダー、飛行機、ヘリコプター、模型飛行機、模型ロケット、紙飛行機、自作航空機、超軽量動力機、気球、スカイダイビング等、スカイスポーツ全般に関する学術的、技術的、経験的、知識的、解説的なもの」と幅広く、スカイスポーツ研究者と愛好者の交流を図ることも目的のひとつです。

開催日：12月2日(土)・3日(日)
会場：日本大学理工学部(駿河台校舎)
案内：学会ウェブサイト

<http://www.jsass.or.jp>

お知らせ

技能証申請時住所確認を簡素化
フライヤーの皆さんが技能証(パイロット証など)をJHFに申請するとき、これまでは住民票の添付をお願いしてきましたが、この5月から、申請者本人が確認できるもの(運転免許証、健康保険証、またはパスポート)のコピー添付でも申請できるようになりました。

技能証写真の取り扱いについて (お詫び)

JHF事務局の会員データ管理システムの能力が限界に達しているため、技能証写真の取り込みができなくなっています。応急処置として顔写真をそのままパウチしていますが、中にはパウチが剥がれたケースもあり、大変ご迷惑をお掛けしています。写真を送っていただければ、技能証を無料で再発行します。

9月頃には新しいシステムが完成し、写真の取り込みも可能となりますので、それまでは現状のパウチによる対応をご了承ください。

JPA技能証をお持ちの方へ

2003年10月に設立された日本パラグライダー協会(JPA)は、独自に技能証を発行しています。JHFは、技能証の一本化をJPAに働きかけてきましたが、残念ながら未だ合意に至っていません。

このため暫定措置として、JPA技能証の所持者でJHF技能証の取得をご希望の方は同等技能クラスのJHF技能証検定を受検できるものとしました。但しJHFフライヤー会員登録が有効であることが必要。また、検定後にJHF理事会の承認をもって検定結果が有効になります。受検をご希望の方はJHF事務局までご連絡ください。

教員技能証検定を希望する方へ

JHF教員技能証検定の受検を希望される助教員の方々のため、JHFでは東北、関東、甲信、東海、関西、中国、四国、九州の各地区に教員検定員を配置しています。受検希望者は、JHFウェブサイト「フライヤーサポートデスク」「教員検定について」を参照のうえ、事務局に申し込んでください。なお、受検申し込みに当たっては、所属都道府県連盟の推薦が必要です。

スカイレジャー航空無線機貸出し

JHFは6年前、郵政省(現総務省)お年玉助成金を活用して、スカイレジャー航空無線機を186台導入。大会開催時など会員の皆様へ無料で貸出し、スカイスポーツの安全性と普及に貢献してきました。

しかし、その貴重な無線機も老朽化が目立ち、電波使用料のほか修理代など維持費がかさみ、皆様のニーズに対して台数的に対応が難しくなってきました。そこで無線機の維持費と修理代および将来の補充に備えるため、2006年1月以降、利用者の皆様に一部負担(1大会につき1,000円/1台)をお願いしています。ご理解とご協力を。

JHFマーク

昨年、当連盟の名称を社団法人日本ハング・パラグライディング連盟(略称JHF)に変更しました。これを機に新しいシンボルマークのデザインを募集。29点の応募がありました。作品を送ってくださった皆さん、ありがとうございます。

6月14日のJHF通常総会において、正会員(都道府県連盟)に投票してもらい1点を選ぶ予定でしたが、結果は2点が同得票に。そこで、両作品を実際の使用に適した形に想定し、8月理事会で最終決定することにしました。新マークはJHFウェブサイトで発表します。

JHFレポート 2006年夏号
発行：社団法人日本ハング・パラグライディング連盟
〒1170-0002東京都豊島区巣鴨3-29-4 東都ビル2階
TEL.03-5961-1388 FAX.03-5961-1389
info@jhf.hangpara.or.jp
<http://jhf.hangpara.or.jp>